

10. 峠のトンネル開通と秘湯温泉地の取り組み（長野県安曇村）

～ポイント～

交通不便地域であるにもかかわらず、地域の魅力によって観光客が訪れている
交通不便であっても、秘湯のイメージを強調することにつながっており、多くの観光客が峠を越えて訪問している。観光地としての魅力とイメージが交通の不便さを克服している。

個性的な観光資源の活用と地元の旅館による魅力の向上

地元の旅館組合による、独自の観光資源を生かした観光まちづくりと各旅館のサービス向上により安定した人気を誇っている。

横断トンネルの開通による来訪圏の拡大

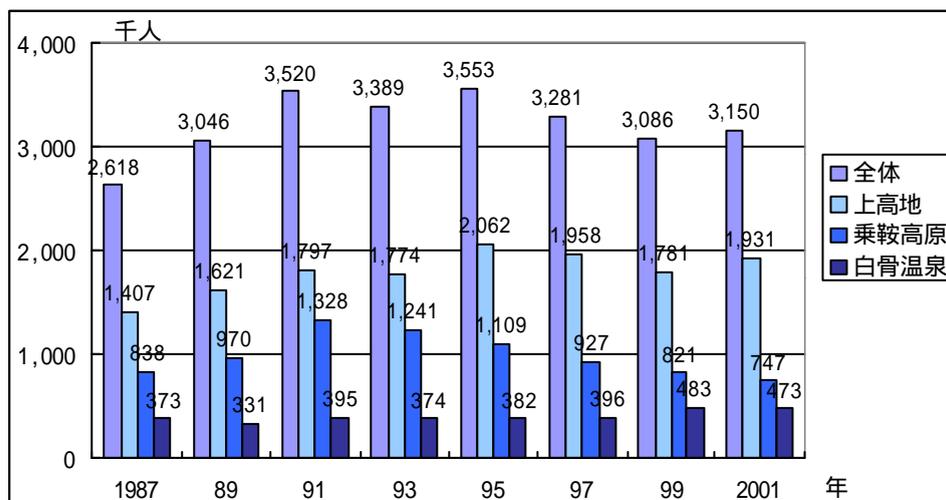
山岳地帯により分断されていた信州と飛騨地方をつなぐ安房トンネルの開通により、通年通行が可能になり、距離・時間の短縮、安全性の向上などの道路事情の改善が図られ、来訪圏の拡大につながっている。

1) 長野県安曇村の概要

安曇村は、長野県の西部に位置し、岐阜県の奥飛騨地方に接している。上高地、槍・穂高連峰、乗鞍高原など全国でも有数の山岳観光地を抱えており、就労人口の約4分の3が観光関連の第3次産業に携わる。松本市から岐阜県飛騨地方、福井市に至る国道158号が同村の幹線道路である。

白骨温泉は、他の集落から山や谷を境に離れた谷間に位置する乳白色の温泉が特徴の温泉地であり、13の旅館とそのほか、飲食店、観光案内所等の観光関連施設が立地する。上信越自動車道・長野自動車道松本ICから国道158号・県道白骨温泉線で約1時間、高山からも同様に約1時間である。富山からは国道148・147・158号、県道白骨温泉線で約2時間30分、鉄道・バス利用の場合、JR松本駅から松本電鉄上高地線新島々駅下車で約30分、路線バスで約55分である。

安曇村観光地利用者数の推移



出所) 安曇村資料より作成

2) 交通施策の概要

安房トンネルの開通

1997(平成9)年12月、信州と飛騨地方を結ぶ全長4.37kmの安房トンネルが開通した。安曇村中ノ湯(長野県)と上宝村平湯(岐阜県)を結ぶ。これまでは、豪雪地帯のため11月中旬から5月上旬まで約6カ月にわたって通行止めになる上、非常に険しい地形で火山地帯の為、地質がもろく、降雨によりしばしば通行止めになることもあったが、このトンネルの開通により、安房峠を年間通行できるようになり、30分以上を要したつづら折りの峠道を、わずか5分で通過することができるようになった。普通車の片道料金は750円である。

冬季の乗鞍スーパー林道の活用

県道白骨温泉線(湯川渡～白骨温泉)が規定雨量を超えた時あるいは冬期間の通行止め時は、県道乗鞍岳線前川渡より乗鞍高原へ、上高地乗鞍スーパー林道を経由して白骨温泉へ至る。

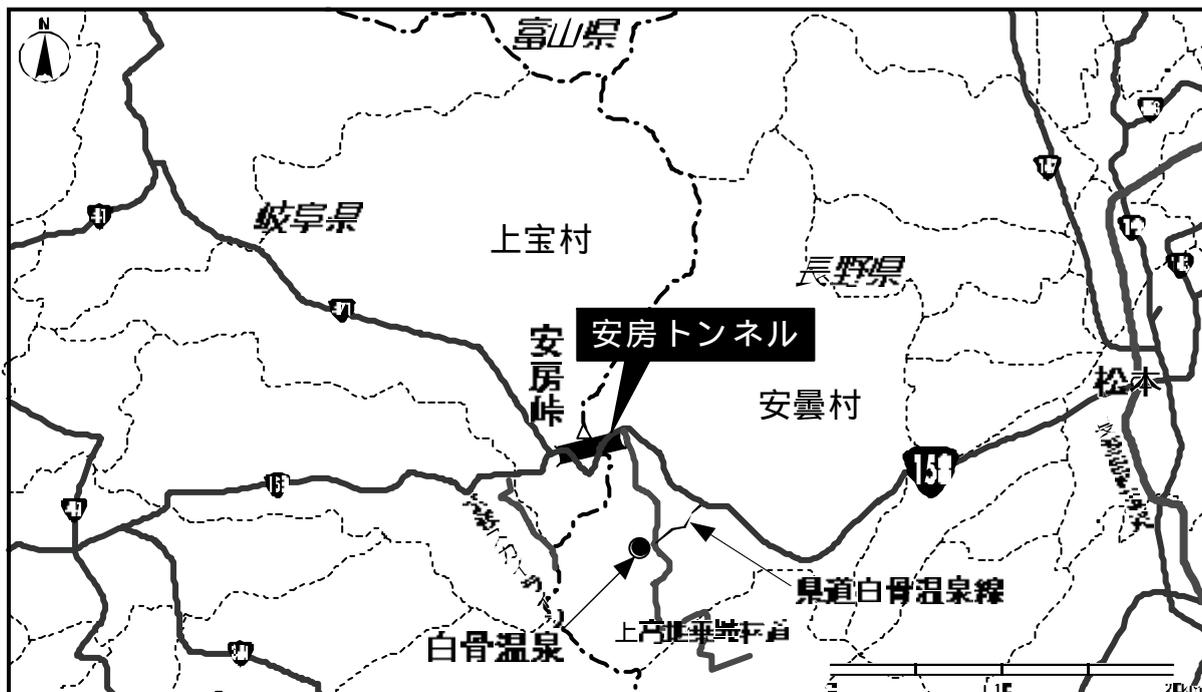
上高地のマイカー規制の通年化

上高地では、1975(昭和50)年よりマイカー規制を実施、当初30日間で始め、96(平成8)年より規制を通年化した。

上高地のマイカー規制の概要

通行許可車	バス(ホイールベース5.0m、高さ3.2m以下に限る)・タクシー	
規制区間	上高地～中の湯	
バス等通行許可時間帯	7～8月	5:00～20:00
	その他期間	5:00～19:00

安房トンネルの位置



3) 観光施策の概要

訪問した人に満足してもらうことを最も大事にしている

白骨温泉では、訪問した人全てに満足してもらうことを最も大事にしていることから、リピーター客の増加や、その訪問者の口コミによる新たな訪問客の獲得につながっている。

また、各旅館のサービスの向上が、入込客数の安定化につながっている。

白骨温泉内の観光施設整備と運営

安曇村では、白骨温泉内に公共野天風呂、遊歩道、案内所、トイレ、駐車場、街灯を整備した。また、白骨温泉旅館組合では、公共野天風呂や案内所等を管理・運営している。また、公共野天風呂のほか、13の旅館のうち11が露天風呂を持っている。最近では、予約に際し露天風呂の有無が大きなポイントとなっている。

< 施策実施の経緯 >

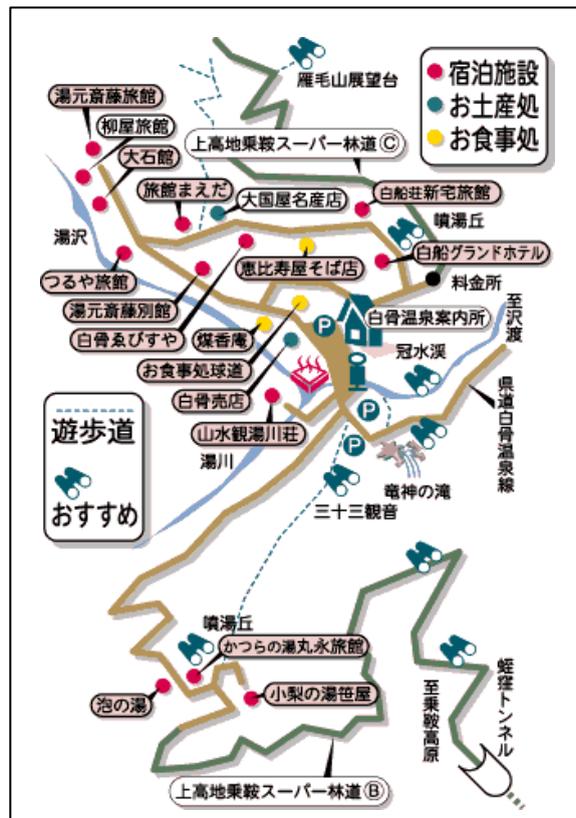
各旅館施設の個別改築への対応を契機とした観光まちづくりの始動

白骨温泉では、平成4、5年頃から旅館の増改築が行われ始めた。白骨の歴史や自然景観に合った温泉地らしい景観を創出するために、旅館組合内に「まちづくり委員会」を組織して方向性を協議、その一環として、村の補助を得て温泉地内の外灯整備も行っている。

秘湯ブームによる問い合わせへの対応

折からの「秘湯ブーム」もあって賑わいを見せ始め、空室情報を含めてより詳しい情報の提供が求められるようになったことから、白骨温泉観光案内所を設置し、運営を旅館組合へ委託した。

白骨温泉施設マップ



出所) 白骨温泉ホームページ (<http://www.shirayukihone.org/index2.html>)

白骨温泉入口付近の看板



白骨温泉観光案内所



4) 交通と観光の相関性

交通条件・周辺環境等が複合して秘湯のイメージを演出

幹線道路や他の集落から離れた谷間に位置する交通不便地ではあるが、こうした交通条件や周辺環境などが複合して、秘湯のイメージを演出している結果、個性的な観光地を創出している。

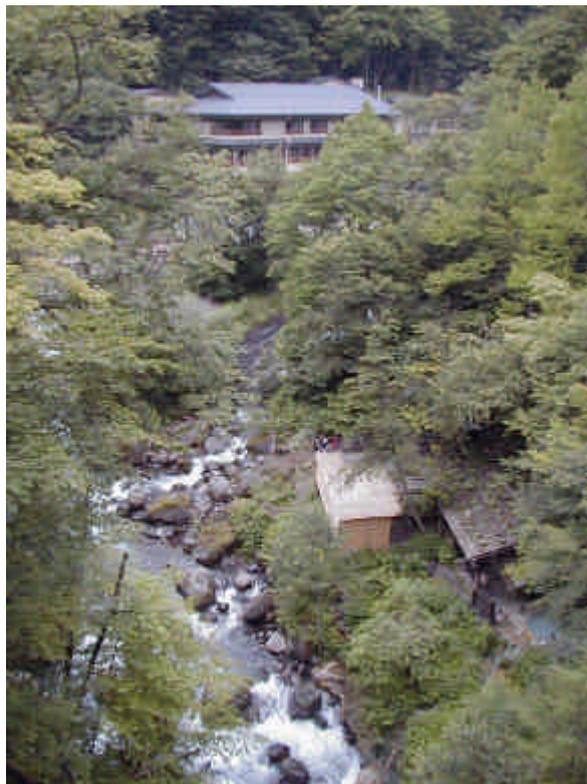
個性的な観光資源の活用と魅力の向上

乳白色の温泉と温泉地の名前の特殊性を活かし、地元旅館組合による、独自の観光まちづくりを進めている。

安房トンネルの開通による来訪圏の拡大

安房トンネルの開通により、白骨温泉の観光客の来訪圏は北陸まで広がったうえ、生活面でも買い物などの圏域が松本～高山まで拡大した。

秘湯イメージを演出する白骨温泉



5) 今後の課題と方向性

白骨温泉への安全性の高いアクセス道路（県道白骨温泉線）の確保

白骨温泉は交通不便であることが逆に秘湯のイメージを醸し出しているといえるものの、より観光客の満足度を高めるためには、安全性を確保することが重要であると考えている。そのため、現在、観光客が安心して白骨温泉へアクセスできるよう、県道白骨温泉線は道路改良が進められているが、全線改良には至っていない。特に冬季も県道が閉鎖されることなく、安全に通行できるような整備が急務である。

また、国道158号においては、近年、バス等の車輛の大型化によりトンネルのスムーズな交通ができず、渋滞発生の一つの要因となっており、早急な対策が必要である。

担当	長野県南安曇郡安曇村役場観光商工課 白骨温泉旅館組合	連絡先	0263-94-2307（電話） 0263-93-3251（電話） （白骨温泉観光案内所）
----	-------------------------------	-----	---